

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 ユニ・チャーム株式会社

コード番号 8113 URL <http://www.unicharm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高原 豪久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務本部長 (氏名) 岩田 淳

TEL 03-3451-5111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	172,530	1.5	21,440	40.5	21,988	46.0	12,876	60.4
21年3月期第2四半期	170,031	—	15,263	—	15,056	—	8,027	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	202.30	202.28
21年3月期第2四半期	125.65	125.31

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	285,508	199,278	62.9	2,820.96
21年3月期	278,313	185,590	60.2	2,634.12

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 179,559百万円 21年3月期 167,667百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
22年3月期	—	35.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	370,000	6.4	42,700	22.4	42,000	32.9	22,000	28.4	345.63

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他
- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第2四半期 | 68,981,591株 | 21年3月期 | 68,981,591株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年3月期第2四半期 | 5,329,826株 | 21年3月期 | 5,329,376株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第2四半期 | 63,651,973株 | 21年3月期第2四半期 | 63,886,413株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)の経済環境は、最悪期を脱しつつあるものの先行きは不透明な状況が続いています。主要参入各国における個人消費は一部には持ち直しの傾向がみられますが、本格的な回復には至っておりません。一方、日本国内の個人消費も依然低迷しており消費者の低価格志向が強まっております。

このような事業環境の中、国内パーソナルケア事業では、高付加価値商品の投入と商品ラインアップの拡大、各種キャンペーン実施による販売促進の強化に取り組みました。ペットケア事業では、引き続き高付加価値カテゴリーの商品ラインを拡大・強化しました。海外事業では、成長市場であるアジア、中東・北アフリカ地域において展開エリアの拡大と積極的なプロモーション投下による販売促進を進めました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は172,530百万円(前年同四半期比1.5%増 為替変動要因を除くと実質前年比7.7%増)、営業利益は21,440百万円(前年同四半期比40.5%増 為替変動要因を除くと実質前年同期比46.9%増)、経常利益は21,988百万円(前年同四半期比46.0%増)、四半期純利益は12,876百万円(前年同四半期比60.4%増)と過去最高の収益となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①パーソナルケア

【ベビーケア事業】

国内では、新開発不織布「ふわり〜ウェーブ」を採用した『ムーニー新生児用』『ムーニーSサイズ』を発売し、ムーニーブランドの強化に取り組みました。さらに『マミーポコパンツ』の入り枚数を変更しお買い求め易くするとともに、月齢の高いお子様のために『マミーポコパンツ ビッグより大きいサイズ』を新発売してラインアップを一新しました。また『ムーニーマン』カーボンオフセットキャンペーンを実施し、「CO2排出権付ベビー用紙オムツ」を発売し、環境問題への取り組みを実施しました。

一方、海外では、成長市場において積極的に販売エリアを拡大し売上げを伸ばしました。中国では参入都市を拡大し高い成長と収益改善を進めました。またインドネシア、中東・北アフリカ、韓国においても売上伸長および収益力の改善を図りました。

【フェミニンケア事業】

国内では、清潔志向の高い女性たちにパンティライナー『ソフィKiyora』『ソフィふわごち 天然エアコットン』を発売し、使用者の拡大を図りました。生理用ナプキンでは、敏感肌にやさしい生理用ナプキン『ソフィ はだおもい』シリーズに新サイズ21cmを追加、既存商品を改良し商品ラインアップの強化を実施しました。また、夜用『ソフィ超熟睡ガード』シリーズの販売促進を実施し、高付加価値カテゴリーの強化による収益改善を図りました。

海外では、アジア参入各国で夜用タイプ、スリムタイプなど高付加価値ナプキンの販売を強化し売上の拡大と収益力を強化しました。また、周辺国や周辺都市へ販売エリアを拡大し高付加価値カテゴリーの普及促進と売上の拡大を進めました。

【ヘルスケア事業】

軽度失禁尿専用品『ライフリーさわやかパッド』『チャームナップ』を改良新発売し、尿ケア専用品の認知率・使用率の向上とともに市場拡大を進めました。また、ライフリーブランドメッセージ「生きることが、リハビリ。」によって、介護する方、される方双方を応援するとともにブランドの強化、浸透を図りました。また、介護度の高い高齢者に向けて「モレにくさ」にあわせて「つけ易さ」、「つけ心地」を改良した『ライフリー横モレ安心テープ止め』を発売し、多様なニーズに応えました。

また、新型インフルエンザ流行によるセルフケアニーズの高まりに対して、『超立体マスク』のラインアップの充実と供給量増強で応えました。

【クリーン&フレッシュ事業】

目に見えないバイ菌までしっかり拭き取り除去できる『シルコットウェットティッシュ99.99%除菌』を改良新発売し、超立体マスクと合わせた「ウイルス対策売場」の提案を実施し、衛生意識の高まりに応えました。また、シートクリーナー『ウェーブ』シリーズに新色のパステルピンクを新発売し、より多くの方にご愛用頂けるよう商品ラインアップを充実させました。

この結果、パーソナルケア事業の売上高は144,598百万円(前年同四半期比1.1%増)、営業利益は16,966百万円(前年同四半期比38.3%増)となりました。

②ペットケア

「健康と清潔でペットの暮らしを快適に」の理念の下、ペットが元気で長生きし、清潔な環境で暮らしていくためペットフード部門、ペットトイレタリー部門の2事業部門に特化して、事業展開を図ってまいりました。消費者ニーズを捉えた製品の開発・市場創造に努め、国内のペット飼育の4大潮流である、「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」に伴う消費者ニーズに対応する製品ラインの拡充と販売促進を行ってまいりました。また、犬・猫の長寿化の進展とともにいつまでも元気で長生きして欲しいと願うペット飼育者のニーズに応え、“13歳以上用”という新しい年齢セグメントを創造する商品として、『愛犬元気 13歳からの愛犬用』、『ゲインズ パックン 13歳からの愛犬用』、『ねこ元気13歳以上用』、『ねこ元気13歳以上用 パウチタイプ』、『銀のスプーン13歳以上用』、『銀のスプーンプレミアムグルメ13歳以上用』、『銀のスプーン13歳以上用 缶』、『銀のスプーン13歳以上用パウチタイプ』、『銀のスプーン おいしいスープ13歳以上用』を発売いたしました。

この結果、売上高は22,476百万円（前年同四半期比5.5%増）、営業利益は3,883百万円（前年同四半期比43.5%増）となりました。

③その他

不織布・吸収体の技術を活かした業務用製品分野においては、スーパーマーケット等を顧客とする食品包材事業を中心に、業務用食品包材である『フレッシュマスター』とブロック肉を保鮮する新製品『フレッシュマスターソフトロール』のスーパーマーケットへの浸透強化を図り、収益改善を進めました。

この結果、売上高は5,456百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は567百万円（前年同四半期比131.1%増）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は285,508百万円（前連結会計年度比2.6%増）となりました。主な増加は、現金及び預金6,317百万円、有価証券2,119百万円、機械装置及び運搬具2,168百万円、投資有価証券2,054百万円であり、主な減少は、受取手形及び売掛金2,257百万円、商品及び製品1,747百万円、原材料及び貯蔵品1,369百万円などによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は199,278百万円（前連結会計年度比7.4%増）となりました。主な増加は、当第2四半期純利益12,876百万円や為替換算調整勘定△88百万円、その他有価証券評価差額金828百万円、少数株主持分1,795百万円であり、主な減少は剰余金の配当の支払1,718百万円によるものです。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は62.9%（前連結会計年度比2.6ポイント増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月22日に以下の連結業績予想値の修正を発表いたしました。

(通期連結業績予想値の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	378,000	38,500	39,000	20,000	314.21
今回発表予想 (B)	370,000	42,700	42,000	22,000	345.63
増減額 (B - A)	△8,000	4,200	3,000	2,000	—
増減率 (%)	△2.1	10.9	7.7	10.0	—
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	347,849	34,883	31,607	17,127	268.32

修正理由

前回(平成21年7月31日)発表の連結業績予想値に対し、売上高は為替換算の影響等によりやや下回る見込みのため下方修正いたしました。一方、営業利益、経常利益、当期純利益につきましては、コスト削減効果が見込まれるため、上方修正いたしました。

上記の連結業績予想値の修正を総合的に勘案し、期末配当予測を以下のとおり修正いたします。

(年間配当予想の修正)

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (平成21年7月31日公表)	32円00銭	32円00銭	64円00銭
今回修正予想	—	35円00銭	70円00銭
当期実績	35円00銭	—	—
前期(平成21年3月期)実績	27円00銭	27円00銭	54円00銭

※なお、上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当金は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
記載すべき重要な事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,942	74,625
受取手形及び売掛金	38,671	40,929
有価証券	7,654	5,534
商品及び製品	11,155	12,903
仕掛品	333	342
原材料及び貯蔵品	8,075	9,445
その他	7,850	10,594
貸倒引当金	△69	△84
流動資産合計	154,615	154,290
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,882	23,898
機械装置及び運搬具(純額)	42,973	40,804
その他(純額)	23,667	19,543
有形固定資産合計	90,523	84,247
無形固定資産		
のれん	12,402	12,734
その他	2,577	3,493
無形固定資産合計	14,979	16,228
投資その他の資産		
投資有価証券	17,664	15,609
その他	8,294	8,101
貸倒引当金	△570	△164
投資その他の資産合計	25,389	23,546
固定資産合計	130,892	124,022
資産合計	285,508	278,313
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,527	37,676
短期借入金	5,414	4,666
未払法人税等	6,728	4,332
賞与引当金	3,962	3,299
その他	31,222	30,546
流動負債合計	78,854	80,521
固定負債		
長期借入金	919	1,206
退職給付引当金	2,137	6,160
その他	4,317	4,833
固定負債合計	7,375	12,200
負債合計	86,230	92,722

(単位：百万円)

	当第2四半期 連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,992	15,992
資本剰余金	18,800	18,802
利益剰余金	179,429	168,283
自己株式	△29,832	△29,829
株主資本合計	184,389	173,248
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,573	1,745
繰延ヘッジ損益	△29	△28
土地再評価差額金	△535	△546
為替換算調整勘定	△6,839	△6,751
評価・換算差額等合計	△4,830	△5,580
少数株主持分	19,719	17,923
純資産合計	199,278	185,590
負債純資産合計	285,508	278,313

(2) 四半期連結損益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	170,031	172,530
売上原価	101,883	94,862
売上総利益	68,147	77,667
販売費及び一般管理費	※1 52,884	※1 56,227
営業利益	15,263	21,440
営業外収益		
受取利息	368	251
受取配当金	166	145
有価証券売却益	34	—
為替差益	—	1,047
助成金収入	327	—
その他	226	495
営業外収益合計	1,123	1,940
営業外費用		
支払利息	137	111
売上割引	895	1,231
その他	297	49
営業外費用合計	1,330	1,392
経常利益	15,056	21,988
特別利益		
固定資産売却益	7	25
貸倒引当金戻入額	41	—
特別利益合計	48	25
特別損失		
固定資産処分損	222	254
貸倒引当金繰入額	—	393
その他	3	120
特別損失合計	225	767
税金等調整前四半期純利益	14,879	21,246
法人税、住民税及び事業税	4,412	7,842
法人税等調整額	724	△1,899
法人税等合計	5,136	5,943
少数株主利益	1,715	2,426
四半期純利益	8,027	12,876

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	143,093	21,295	5,641	170,031	—	170,031
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	3	(3)	—
計	143,094	21,295	5,643	170,034	(3)	170,031
営業利益	12,268	2,707	245	15,221	41	15,263

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
- (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
- (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	パーソナルケア (百万円)	ペットケア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	144,598	22,476	5,455	172,530	—	172,530
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	1	1	(1)	—
計	144,598	22,476	5,456	172,532	(1)	172,530
営業利益	16,966	3,883	567	21,417	22	21,440

(注) 1 事業区分の方法

各事業区分の方法は、製品・販売市場等の類似性を考慮して、当社の売上集計区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

- (1) パーソナルケア……ベビーケア関連製品、フェミニンケア関連製品、ヘルスケア関連製品等
- (2) ペットケア ……ペットフード製品、ペットトイレタリー製品
- (3) その他 ……食品包材製品、産業資材製品、ファイナンス業務等、その他

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	106,510	39,073	24,447	170,031	—	170,031
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	4,779	1,304	—	6,083	(6,083)	—
計	111,289	40,377	24,447	176,114	(6,083)	170,031
営業利益	9,805	4,845	543	15,194	68	15,263

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ等

(2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ・ 中東 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	107,076	45,150	20,303	172,530	—	172,530
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	7,259	1,083	—	8,343	(8,343)	—
計	114,336	46,233	20,303	180,874	(8,343)	172,530
営業利益	14,862	5,619	1,065	21,547	(107)	21,440

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ・中東……オランダ、サウジアラビア

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高(百万円)	39,074	18,406	8,425	65,906
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	170,031
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	23.0	10.8	5.0	38.8

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア・エジプト・アメリカ等

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	ヨーロッパ	中東・北アフリカ・北米	計
I 海外売上高(百万円)	45,157	12,295	8,662	66,116
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	172,530
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	26.2	7.1	5.0	38.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア……………台湾、中国、韓国、タイ、インドネシア、オーストラリア等

(2) ヨーロッパ……………オランダ等

(3) 中東・北アフリカ・北米……………サウジアラビア・エジプト・アメリカ等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 表示方法の変更

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
(四半期連結損益計算書関係) 前第2四半期連結累計期間において、営業外収益に区分掲記しておりました「有価証券売却益」及び「助成金収入」は、営業外費用総額の100分の20以下になったため、当第2四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めて表示しております。

(2) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費の主なもの	※1 販売費及び一般管理費の主なもの
販売運賃諸掛 8,702百万円	販売運賃諸掛 8,877百万円
販売促進費 17,748百万円	販売促進費 20,166百万円
広告宣伝費 4,665百万円	広告宣伝費 5,313百万円
従業員給与・賞与 5,123百万円	従業員給与・賞与 5,112百万円
賞与引当金繰入額 1,537百万円	賞与引当金繰入額 1,634百万円
退職給付費用 549百万円	退職給付費用 719百万円
減価償却費 1,109百万円	減価償却費 988百万円